第３分科会　＜知性・創造性＞
研 究 主 題　知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進

【趣旨】

今の子供たちが社会に出て活躍する時代には、グローバル化や情報化が一層進み、あらゆる分野で加速度的な変革の動きを見せると予想されている。未知の状況が次々と起こる急激な社会変化の中で、子供たちが未来の創り手となり、生き生きと過ごしていくために必要な資質・能力を育成する必要がある。

学習指導要領では、「どのように学び、どのような資質・能力を身に付け、何ができるようになるのか」を明確にし、子供たちによりよい人生や社会を創り出すためのしなやかな知性と豊かな創造性を育成していくことが求められている。そのために、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し、連携・協働しながら「社会に開かれた教育課程」にしていかなければならない。

また、校長には、教育の内容を教科等横断的な視点で組み立て、学校内外の教育資源を最大限に活用しながら教育活動を展開させ、教育実践の分析と客観的なデータに基づいて教育課程の実施状況を評価・改善して学校の教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの推進が求められる。

本分科会は、校長のリーダーシップのもと、子供たちが豊かな未来を創り出す、持続可能な社会のつくり手となることができるように、しなやかな知性と豊かな創造性の育成をめざす「社会に開かれた教育課程」の実現と、カリキュラム・マネジメントの推進についての具体的方策と成果を明らかにする。

《協議題１》「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組　（鹿児島県）
《協議題２》しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育活動を実現するカリキュラム・マネジメントの推進　（熊本県）